

議 事 録

会議名	令和7年度寒川町社会教育委員会議第2回公民館部会		
開催日時	令和7年10月30日(木)午前10時00分～午後0時20分		
開催場所	寒川町民センター 3階 講義室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者:山口委員(部会長) 三澤委員(副部会長) 黄木委員 濱田委員 森委員 欠席者:なし 事務局:生涯学習課 岡野課長 山口副主幹 早川主任主事 指定管理者:別府町民センター館長 傍聴者:2人		
議 題	報告事項 (1)令和7年度公民館事業実績報告(6~9月分)について 協議事項 (1)第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について (2)地域学校協働活動の推進について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由(一部非公開 の場合を含む)	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 山口部会長 生涯学習課長</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼 森委員、三澤委員</p> <p>3. 報告事項 (1)令和7年度公民館事業報告(6~9月分)について 町民センター等指定管理者から報告(資料2)</p> <p>【委員】フォークダンスの講座の参加者の年齢層はどのあたりですか。 【指定管理者】おそらく60代以上の方が多いかと思われます。 【委員】現在は学校でフォークダンスはやっていますか。 【委員】5年生が1泊2日の野外活動でキャンプに行き、キャンプファイヤーの時にフォークダンスを少し踊ります。昔のように世界各地のダンスを種類豊富にはやっていなくて1曲程度です。あとは最近の音楽に合わせて踊りますが、昔ながらの曲もやっております。 【部会長】ほかにご意見などいかがでしょうか。 【委員】相変わらず多種多様で、新規事業も多く感心しております。私は町外在住なので比べると寒川町は豊富で魅力的なものも多くていいと思います。ニュースポーツ教室は以前、中学1年生が地域の方と連携してやったこともあります。今は授業時数確保で減少してしまいましたが、私も過去に体験しておもしろかったので良い感触を持ちました。周知や時間の都合もあるかもしれませんが、今回の参加率は100%ではありませんが、コンテンツとしては魅力が</p>		

あると思います。サマーランチ with FLT は申込が 42 人とかなり多いですが、これは抽選になりましたか。

【指定管理者】はい、こちらは開催回数を増やすことができなかったのが、残念ですが抽選となりました。

【委員】小学生対象で人気だったようですね。もう一つの新規事業のサマーランチは中学生対象ですか。

【指定管理者】中学生以上で大学生までを対象としましたが、参加が少ない状況でした。

【委員】なかなか中学生以上は部活動などいろいろと忙しいので参加がしにくいのかもかもしれません。コンテンツとしては良いと思います。マッチングが難しかったようですが新規事業に挑戦されていることは素晴らしいと思います。ランチだと小学生は申込しやすいようですが、その兼ね合いでまた考えていただけるとさらに良いと思います。非常に魅力的な講座が多くてありがとうございます。

【事務局】サマーランチは今年の新規事業で町民センターと生涯学習課と教育研究室の指導主事と相談しながら企画しましたが、中学生以上の講座は対象者に情報が届きにくいという課題もありました。広報さむかわに掲載されても中学生自身は広報を見ない、保護者に言われて行くという世代でもない、LINE で配信をしましたが学生には届きにくかったようです。今回は中学生と大学生が参加をしてくれました。大学生は語学留学中で海外にいる時に町の LINE を見て申し込んでくれたと聞き、オンライン受付をしているメリットを感じました。申し込みが伸びず残念でしたが、開催日が 8 月最終週で、宿題などを集中してやる時期なので、期日設定にも問題があったと思います。来年度も FLT と中学生向けの講座は企画したいと考えますが、時期と周知方法を工夫したいと考えております。

【委員】中学生のサマーランチは小学生のランチのように何か作るのですか。

【事務局】当初はパンケーキを料理しようという内容だったのですが、応募が 2 人しかいなかったため、英語で自己紹介やゲームを職員や中学生の保護者の方にも参加してもらいました。ランチという講座名を付けたので、最後にお茶とお菓子を用意して FLT と参加者と一緒に食べて終了しました。

【委員】ランチは注文の仕方を学びますが、それよりもちょっとレベルを上げて料理と一緒にすることは内容の差別化ができているのは良いです。私も過去に FLT とチームティーチングで家庭科をやったことがありますが、子どもは実践的な英語を身につけられるので、これは記憶の定着にも効果があって大変良いと思いました。周知も届きにくいのであれば、チラシを中学校や寒川高校で配布を依頼してはどうでしょうか。すごく良い機会なので、それができればいいと思います。

【事務局】小学生向けには夏休み前に「すきっぷ」という媒体で周知ができるのですが、中学生には配布していないので、夏休み向けの中学生対象の事業を集めて中学生版「すきっぷ」を A4 版 1 枚でも作成すると認知が広がるかもしれません。中学生に直接夏休みにやっている事業の情報が届けることができれば良いと思うので、来年度検討したいと思います。

【委員】それができれば素晴らしいと思います。

【部会長】ほかにはいかがでしょうか。

【委員】南部公民館講座の「日本茶の魅力再発見」ですが、日本の伝統的な、昔からある文化を子どもたちに教えることも大事だと思います。私も近所の子どもが来ている時にきゅうすでお茶を入れてあげたことがあるのですが、「それは何?」と聞かれました。その子は 3~4 年生ぐらいでしたが、きゅうすでお茶を入れることを知らなくて、家からペットボトルを持ってきて「お茶はこれだよ」と言っていました。これはぜひ続けていただけたらいいと思います。

【委員】防犯講座の内容でゲームをやったと書いてありますが、それはどのような内容ですか。

【指定管理者】この防犯講座は町民センターの新規事業ですが、警備会社の ALSOK から講

師3人に来ていただき、主に空き巣や泥棒対策に関して事例をあげて説明をしてもらいました。最後は暴漢に襲われた場合の簡単な護身術として手を振り払って逃げる動作などを教えてくれました。参加者の中に実際に空き巣被害を受けたのではないのですが、兆候を感じて怖い思いをしたという方がいて、自宅の防犯対策について質問する方もおりました。

【委員】1人で留守番をしていると物音がするだけで怖いと感じます。留守にしているとカーテンを閉めていたりするので外から見てもわかります。1年ほどアパートで仮住まいをしていた時は玄関に鍵をかけるだけで済むので全然怖くなかったのですが、最近自宅に戻ったら開けるところがたくさんあるので怖くなる時もあります。防犯講座に参加すればよかったと思いました。

【指定管理者】また企画することはできますので、再度実施する時にはぜひご参加ください。

【部会長】資料2の7頁の町民センターの「ニュースポーツ教室」は生涯学習推進員の事業で、その記載が漏れています。生涯学習推進員もがんばっていますので、忘れず載せていただきたいです。6頁の南部公民館の子どもフェスティバルは推進員事業ですか。

【指定管理者】これも推進員が関わっていますので、記載が漏れていて失礼しました。

【部会長】北部公民館の夏休み子どもフェスティバルも生涯学習推進員事業の記載がもれています。毎年一所懸命やっておりますので、PRをさせてください。今後も11月から1月まで推進員の事業があります。皆がんばっておりますのでよろしくお願いいたします。

【指定管理者】推進員事業は北部公民館が一番多いので、記載漏れは大変失礼しました。

## (2)派遣事業等報告

- 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会の内容については協議事項(1)で合わせて説明

## 4. 協議事項

### (1)第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

- 11月20日(木)、21日(金)の参加方法について(資料3)  
大会内容の説明、参加方法の確認

- 寒川町の第3分科会事例発表について(資料4)  
事例発表内容を模擬発表

【部会長】ただいまの事例発表の内容について、ご意見や提案がありましたらお願いいたします。

【委員】スライドもわかりやすく良いと思います。森委員の話すスピードは丁度良いのですが、山口さんは早めになりがちだったので、聞く側が年配の方の場合は聞き取りにくくなるため、ゆっくり話すことを意識するともっと良くなると思います。また9ページで「東京英語村」とありますが「東京都英語村」が正しい名称になります。8ページに戻りますが、事業の紹介を子ども対象に限定しているのは素晴らしいまとめ方だと思います。子ども事業をもっと推しても良いかもしれません。代案ですが、8ページの下から2行目の「その中から、とくに子どもの成長に視点を置いた特長的な事業に絞って」とした方が、たくさんやっていてこれだけではないというアピールしてはどうでしょうか。たまたま今回は子ども対象に絞っていますが、たくさん事業は行っているという視点を入れられると理解してもらえて良いと思います。とくに少子化問題で子育てに関することは社会でも重視されており、こども家庭庁もできていますので、良い視点でまとめられていると思います。ぜひアピールしてください。

【事務局】貴重なご意見ありがとうございます。ぜひ口述原稿に取り入れてまいります。スライド制作については、仲田委員にも多大なご協力いただきました。当初は写真中心にスライドを

作成していましたが、9月の県社連研修会で模擬発表したところ、スライドにもっと文字を入れた方が良いというご意見をいただき、文字のスライドを増やしました。

【委員】もし時間があるのであれば、18ページの「たのしく学ぼう寒川の歴史と文化」の部分で、「寒川の歴史について学び」だけではなく、縄文遺跡などもっと詳しく内容を紹介できないでしょうか。

【事務局】縄文時代も「歴史」に含まれますが、「寒川の縄文遺跡について学ぶ」とした方がよろしいですか。

【副部会長】この講座では森委員が熱心に子どもたちに説明されていたのでどうでしょうか。

【委員】私はマクロ感で「歴史について」でいいと思います。時間も限られますので、あえて細かく説明せず、もし質問が出れば対応するので構わないと思います。

【副部会長】これは森委員と仲田委員のお二人で講師をしていただいているので、もう少し加えても問題ないと思うのですがいかがですか。

【委員】歴史全般のことではなくて、この講座では縄文時代の歴史に絞ってお話されたのですか。

【副部会長】そうです。

【委員】もし反映するならば、「寒川の縄文時代の歴史について学ぶ」としてはどうですか。

【副部会長】その方がわかりやすいですね。

【部会長】ほかにはよろしいでしょうか。このスライドを操作する人はもう1名必要ですか。

【事務局】登壇者2名で発表とスライドのPC操作を行います。先ほど模擬発表をする前に森委員からも確認がありましたが、口述原稿では表題は含んでおりません。今は皆さんの手元に口述原稿があって、それを見ながら次に何の話題が来るのかわかりませんが、実際の分科会ではレジュメだけで発表を聞くので、どこの話をしているのかわからなくなるため「公民館事業について」など表題を読み上げた方がいいのかもしれませんが。

【委員】19ページの「成果と課題について」は、いきなり始まってしまったので、表題を言った方がわかりやすいと思います。

【委員】私も修正した方がいいと思います。

【部会長】「成果と課題について」や最後のまとめは、言葉で言った方がいいと思います。あとは23ページの「コロナ禍以降は公民館と図書館の利用者は減少しています」とありますが、そこからまた令和元年度の数値まで戻ってきていませんか。

【事務局】公民館の利用団体数は戻ってきているのですが、サークルの会員数が減っていることで利用人数はそこまで戻っていないことと、図書館の場合は令和2年度が一番少なく、令和3年度に回復した後は減少が続いています。図書館の利用者が戻らないことについては、子どもの読書離れが顕著に現れています。寒川町に図書館があることを知らないという人も多いようで、図書館スタッフは町民が全員図書館の存在を知っているという認識でおりましたが、実は町民にはあまり届いていないこともわかってきました。まとめのアウトリーチのところでも書きましたが、とくに北部エリアの小谷小や旭小の子どもたちには図書館が遠いためなじみがなく、小学校の「図書館たんけん」で総合図書館に来た子どもたちにこれまで図書館に来たことがあるか尋ねたらとても少なくともショックだったと聞きました。もっと図書館の情報を外に発信しなければいけないとLINE配信や広報掲示板にポスターを貼ることを始めました。コロナ禍以降、利用者減少は課題となっています。

【委員】小学校の「図書館たんけん」で初めて図書館に行ったという子もいますが、学校でも様々周知はしています。小学校では読み聞かせや国語の時間に図書室へ行って読書をするなどいろいろな活動をしているのですが、家庭となると最近は動画を見てしまうことで読書はなれなくなっていると思います。全国学力学習状況調査でも問題となっていて、家庭でのゲームや

動画視聴に割かれる時間が寒川町の子どもたちは全国平均よりちょっと多い結果となっています。家庭のことになりますが、そこは課題に感じています。

【事務局】先ほどご意見いただきました 23 ページの「コロナ禍以降は公民館と図書館の利用者は減少しています」については、「コロナ禍以降は回復しないことが課題です」といった言葉に変えさせていただきます。

【部会長】図書館の利用が減少していることは、強調してもいいのかもしれませんが。公民館は回復しているけれど、図書館はそこが課題であるとしてはどうですか。今は夏休みの宿題では読書感想文をやっていますか。

【委員】今は任意です。いろいろな課題が多いので、必須にするとキャパオーバーになってしまう子もいるため難しくなっています。

【部会長】昔は必ず出ささいと言われましたが、最近は難しいですね。こういうことも読書ばなれの原因なのかもしれません。

【事務局】毎年夏休みに図書館が実施している「わくわく読書マラソン」は、10冊読んだら記念品を差し上げているのですが、これも年々参加者が減少しています。夏休みの間に10冊読むことも難しいのと思うのですが、なるべく本に親しむ活動はどのようなことができるのか、新たなことができるのかということは図書館部会で協議すべきことかもしれません。

【部会長】この分科会では全体で2時間ほどあるようですが、2つの事例発表があり、その後は質疑応答という形式ですか。

【事務局】事例発表があり、質疑応答を行って、その後に参加者協議ということで近くに座っている参加者同士で小グループを作って事例発表のことを話し合いして、それから全体共有として小グループで出た話題を発表してもらおうそうです。最後は大学の先生が助言者としてはいっていただきまして講評をいただきます。私たちの事例発表は25分ですが、それ以外にも参加者の方の話し合いの時間が長くとられています。

【部会長】質疑応答では、どんな質問が来るのかわかりませんが対応しなければいけないということですね。

【事務局】9月のリハーサルでも、社会教育委員の公民館部会、図書館部会を設置していることや指定管理についての質問が出て、家庭教育支援という分科会テーマから外れてしまう状況でしたが、他市町村の社会教育委員はそのことの方が聞きたいという感じもありました。

## (2) 地域学校協働活動の推進について

事務局から資料5の「3.取組方策」の(1)寒川町の地域と学校が共有する目標、(2)テーマについて、(3)体制づくり、(4)地域でつながるための方策・ネットワークづくりについて、説明と事務局提案。

【部会長】ただいま事務局より説明がありました。本日は資料5の10ページの「3.取組方策」について意見をまとめていくとのこと。まず「(1)寒川町の地域と学校が共有する目標」は標語の形式にはしないで、めざす方向性を文章で示してはどうかとの事務局提案ですが、ご意見や質問がありましたらお願いいたします。

【副部会長】文章形式か標語形式のどちらかを選ぶのではなくて、文章形式で行くということですか。

【事務局】文章形式にしてはどうかということが事務局提案となります。

【副部会長】標語にするとなかなか具体的な言葉が入れないと思います。具体的な言葉がないと活動をする時に情報の共有ができず、それに向かって進めません。漠然とした自立と共生ではなく、具体的な言葉で郷土を愛するとか、心を育むとか、ふるさと愛を育てるとか、そういう言葉が入れば皆さんが一点に絞られていいと思います。

- 【部会長】例えば考えている文章案などはありますか。
- 【副部会長】10 ページの案ではみな同じように自立と共生になっていますが、「③町民が共に学び、地域と学校が絆を深め、子どもたちの自立と共生をめざす」や「①子どもたちは町の宝であり、主役の子どもたちを地域と学校は対等な立場で支える」あたりがいいのではないかと考えております。そうすると文章形式ではなく標語形式になってしまいますが、こういう言葉を使って文章化したらいいと思います。この標語だと「自立と共生」がどこにかかっているのかわかりませんが、①と③は少しわかりやすいと思いました。私が標語形式で考えてきたのは「地域と学校が連携し、未来を担う子どもたちの学びと自立を支える」という言葉を考えてみました。文章形式だともっとじっくり考えないといけないと思います。
- 【事務局】この部分は以前の案では標語のようなものは入れていませんでした。文部科学省のフレーズで「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」ということを目指して寒川町でも取り組んでいきますということを記載していましたが、それであると寒川町らしさが出ないという意見がありましたので、寒川町らしい目標をどのように作るかということから、前回の会議で教育振興基本計画の理念を踏まえた言葉を入れました。委員の皆さんからはわかりにくいのご意見がありましたが、この①から③までの言葉が協議で出ましたので、案として今回の資料ではその言葉を列記しました。今日の公民館部会と図書館部会で出た案を統合して、この提言書案を作っていきますが、標語ではなく文章で示したいと考えております。
- 【副部会長】本日決めるのではなく、宿題ではいけませんか。
- 【部会長】ほかにご意見はいかがでしょうか。
- 【委員】標語はスローガンとして掲げやすい象徴的なものになります。それが前回の協議では具体的に伝わりにくい、具体性がないのでそれが推進されていくのだろうかという懸念が出ていたと思います。例えば標語は作っておいて、その後に標語に込められた思いや説明書きがあれば、それが①から③にあるような内容になると思います。これらもそれぞれ言葉が重複しているので、そこを整理しながら標語に込めた思いを説明することもできるのではないかと思います。教育振興基本計画も基本理念がありますが、それをかみ砕いて説明するものも付けています。事務局の当初案も良いと思うので、それを生かしながら、そこに込められた思いを説明するとブレが少なくなり、具体性も出せると思います。説明には①から③の言葉を生かしながら郷土愛に関する事など具体性のある言葉が入れられるのでいいと思います。
- 【部会長】標語を作って、その下に説明の言葉を入れるという形でしょうか。
- 【委員】前回の協議でも気になっていたのですが、「町民」とか「地域」とかこれらの言葉の定義があいまいなので、何を指す言葉なのか少し整理をしないと収まりにくいかもしれません。町民というと全世代の町民、地域というと理念的なものもありますので、そこを理解して定義づけた上で説明書きを作った方が良くないかと思いました。
- 【部会長】「学校」には児童生徒が入っているということが分かりますが、「地域」という言葉には人が入っていると考えて良いのでしょうか。
- 【事務局】ここで使う「地域」は学校と対比させる言葉となります。地域というと学校も入って全部ではないかという考え方もありますが、ここで協議したいことは「学校と地域がともに」ということなので、この「地域」という意味には学校は入っていません。「家庭」は学校と地域をつなぐものとなります。「学校」では保護者でもあり、「地域」の人でもあります。
- 【委員】地域にもニュアンスが色々あります。学校と地域となると、その学校のまわりにある地域となり、②の「地域が共に学び」となると「地域に住む人々」という意味になると思います。「地域」という言葉でも違った使い方をしている部分があります。場合によっては⑦のような「社会と学校が目標を共有し」となると、社会という範囲はかなり広がります。おそらくコミュニティ・スクールを考えた時には「地域と学校」なので、この社会は「地域社会」と考えた方が良くないかと思いますが、ここでは「地域」を表わしているのかなと思います。いろいろな言葉が

出ていますが、町民、地域、社会といろいろな言葉がありすぎると混乱しますし、同じ意味で使っている場合もあるので、文言を整理した方が良いと思います。また事務局でたたき台となる説明を作っていただいて、先ほどご意見の出た郷土愛も入れてはどうでしょうか。

【部会長】郷土愛やふるさと教育という言葉を入れて事務局に案を作っていただいてもよいですか。

【事務局】たたき台の標語はどのようなものにするかということがありますが、先ほど意見の出た⑦⑩⑬あたりの言葉を使って作ることでよろしいですか。

【委員】当初の事務局案があって、問題だったのは説明が足りない、具体性が無いということで、当初の事務局案の標語自体が悪かったのではないので私はこの事務局案の標語で良いと思います。

【事務局】当初の標語案に込めた思いを説明として付けるということでもよろしいでしょうか。

【委員】私は「子どもたちのために」という言葉がひっかかりました。見方によっては「あなたたちのために」と取られてしまいます。他の地区の事例を見ても「誰かのために」という言葉は出てきていません。共にこうしていこうという意味合いが多いように感じます。そのあたりはいかがでしょうか。

【委員】子どもは小学生だけでしょうか、中学生も入りますか。

【委員】今回の場合は地域学校協働活動として小学校・中学校との連携になってくるので小学生と中学生になりますね。

【委員】子どもをあまり強調するとかわいそうな、伸びていけないような感じがします。私はそういうところがひっかかります。「社会と学校が目標を共有し」ということは良いことだと思いますが、このようにたくさん案があるとどれが良いのかわからなくなります。町民という寒川町民のことだから良いし、地域としても良いと思います。なかなかこれが良いというのは難しいです。しいて言えば私は⑥が良いと思いました。

【委員】私は事前配布していただいた参考資料を見て、これは目標ではなく取り組み方が書いてありますが、ふるさと学習推進プロジェクトであるとか、子どもたちの心に郷土愛を育むとか、私が言ったようなことを取り組まれていると思いました。やっぱり子どもたちに地域への郷土愛を育むことが大事だと思います。地域の力としては一番そういうことができるのではないかと思います。ふるさと教育を使っているところが多いように感じます。

【委員】現在、コミュニティ・スクールでは学校における様々な活動に協力していただいている状況です。具体的には体育の授業でプールの引率であったり、家庭科の授業で補助に来ていただいたり、遠足の班別行動に付いてもらったりしています。学生ボランティアも入って、社会総がかりで子どもと育てていくということがコミュニティ・スクールの根本的な理念になります。郷土愛も大切ですが、それも含めた色々な活動をしていただいている、地域も広くとらえると、寒川町の中だけではなく、出前講座という形でいろいろな専門家をお呼びして、チームティーチングで授業に入ってもらっています。子どもたちには先生ではないその分野に精通した専門的な人に教えてもらう経験はものすごい財産になります。それはすごく大事なことで、それが「子どもたちをまんやかに」という言葉に入っているのだと思います。

【委員】最近の学校の運動会や体育祭は、保護者は見に行けますが、地域の人は呼んでもらえません。地域にも老人はいますし、祖父母でも行けなくなったと聞きます。

【委員】その理由のひとつとしては場所のキャパシティの問題があります。保護者も昔は見に来る人は各家庭からお一人でしたが、近年は両親、両祖父母と家族総出で、それはありがたいことなのですが、場所が限られますので、運動会では種目ごとで出場する学年の保護者に入れ替わってもらっています。入替のお願いをアナウンスしなければならないほど前方は密になります。運動会のほかに、学校へ行こう週間では授業参観もやっていますが、保護者は仕事を休んで来てくださる方が多いです。保護者の関心がより高くなっていることもあり、地域の

方を受け入れるキャパシティがなくなってきていることも残念な状況です。コミュニティ・スクールの学校運営協議会の方にはお越しいただいています。

【部会長】いろいろご意見いただいておりますが、時間も無くなってきているので、本日は目標について、①から③まで、とくにこの言葉が良いというものを選んでまとめることは難しいですか。その言葉の下に、郷土愛を育むといった取り組むことの説明を入れていくような形にしてはどうかと思うのですが、いかがですか。次に持ち越しとなると2月の全体会になります。

【事務局】次回は全体会になりますが、協議の進行状況から今年度内に提言書をまとめることは難しいと感じております。

【委員】この目標の案はどれも地域が入っていますが、地域の人にお世話になっているのに、地域の人は疎外されているように感じます。

【事務局】当初の事務局案では町民という言葉ではなくて、地域としていましたが、地域があるなら学校も入れた方が良いという意見がありましたので、町民としました。そうではなく「地域と学校」とした方が良いのか、「子どもたち」か「子ども」なのか、「～のために」という言葉を入れずに「子どもまんなか」という言葉にした方がよいのかということが本日のご意見で出たかと思えます。本日も協議時間が足りなくなりましたので、残りの部分に進めない状況です。本日午後には図書館部会がありますので、この部分ではまた他のご意見も出てまいりますので、それと組み合わせた形で事務局案の標語を作って、説明を入れたものを次回会議で協議してもらおうということではよろしいでしょうか。

【部会長】入れる言葉としては、「子ども」か「子どもたち」か、「地域と学校」と、「自立と共生」が入りますか。

【事務局】ここは教育振興基本計画の理念と齟齬がでないように考えたいです。

【委員】自立と共生は固い感じがするので、「成長と学び」でも良いと思います。

【副部会長】「町民が共に学び」ではなく、「町民が連携し」ではないのですか。

【事務局】その部分を「地域と学校が共に学び」になるかと考えていましたが、学びではなく、別の言葉になりますか。

【副部会長】「学び」は使うのですね。

【事務局】公民館部会としてはやはり標語をひとつ決めて、その下に説明文を入れる形式とすることを結論としてよろしいですか。

【部会長】それでよろしいですか。

(部会員了承)

【部会長】図書館部会でも良いご意見が出ることも期待したいと思います。本日はここまででよろしいでしょうか。

【事務局】最後に、公民館部会として、地域学校協働本部の設置場所として、案1~5を出しておりますが、これについて公民館部会のご意見をいただいております。

【部会長】それではこの部分を最後に皆さんからご意見うかがいます。

【委員】私は本部というのは1つというイメージを持っていました。全ての学校に置くとそれをコントロールする場所が必要になるのではないかと思います。違いますか。

【事務局】本部を各学校に置くと、その学校の推進員の努力がかなり必要になると思います。全体で連絡会をつくるという方法もできると思います。

【委員】私のイメージは本部があって、各学校が支部になると思いましたが。それぞれの地域事情もあると思いますが、8つ本部を作ると、それぞれで単独でやっていくということですか。

【事務局】どの案にしても町でまとめるということはしていきます。

【委員】寒川町はそれほど大きな町ではないので、細分化してしまうと小さな組織では人材的にも機能しなくなると思います。マンパワーも必要になります。人材バンクを作ろうとしても小さな組織では人材が揃わないことになる気がします。ある程度大きく作って、各学校運営協議

会と連携すると良いと思います。

【副部会長】私は小学校区にしておいた方が、地域の方が自分の地区の小学校とは関わりやすいし、がんばって活動ができると思います。小学校区が地域になじみが合って親しみやすく活動しやすいと思います。

【委員】子どもたちのことなので小学校区に置くのがいいと思います。

【部会長】私も小学校区に設置すれば、小学校区のまわりの人は地域のことを良く知っていると思います。デメリットは先ほどご意見もありましたが人材を確保する点が難しいと思います。推進員の方々の人数にもよりますが、何人も置けますか。

【事務局】推進員は各学校 1 人になると思います。あとは学校運営協議会の委員と、地域のボランティアの方がいて、推進員の方はコーディネーターとなります。

【委員】人材バンク的に地域の方々がいて、学校運営協議会でこういうことをやりたいという場合に地域の人材を紹介してもらおうという形になります。逆に、学校運営協議会にこういうことをやってはどうですかという提言も推進員はできると思います。

【部会長】本部がひとつあって、その中に各コミュニティ・スクールの人が入っていて、そうなる小学校ごとに本部を設置しなくても良いということになりますか。

【委員】人材を紹介してもらいたい時に、小さい単位だと人が見つからない可能性があります。マッチングがうまくいなくて、他の地区にはいても、うちの地区には来てくれないということにもなるかもしれません。小さい学校はよりその可能性があるのも、それがデメリットだと思います。ただ、地域の小学校だから協力したいという方もいると思います。先日の運動会では小学校の近所のお宅にご迷惑をかけますとのご挨拶で訪問しましたが、学校はもっと元気に活動して、子どもの元気な声をきかせてと励ましの声をほとんどのお宅からいただきました。そのように支えてくださる近隣の方とつながりが強いということはその通りだと思いました。小学校区もそのような点では良いとは思いますが、規模が小さくなると人材が揃わないことはデメリットだと思います。

【委員】それをコーディネートするのが本部の役割だと思います。

【事務局】先日、葉山町の事例をお聞きしまして、そこは本部を置かずに全学校に推進員を置いて、連絡会を中学校区に作っているとのことでした。推進員が 1 人でいろいろコーディネートをしているそうです。推進員をやっている方はほぼ PTA の OB で、その学校のことを良く知っているし、保護者の気持ちもわかるし、若い世代の方が多いのでフットワークが軽いそうです。例えば自治会長となると、役割も多く、お忙しい方も多く動きにくいということもありますので、そういう役付きの方ではなく、PTA の OB をお願いしているそうです。お一人で人材を探していただくので大変そうだと思います。

【委員】相当情報通でないで大変です。本部ではないので、すべてやるということでは難しいと思いますが。

【事務局】本部の役割としては、人材バンクと情報発信で広報誌を作るといったことなのだと思います。本部を置かなくても活動はできるという事例を知りましたが、やはり本部があった方がいいのではないかと思います。

【委員】推進員の知っているツテだけになってしまいますね。

【部会長】公民館部会としてはこの 5 つ案の中から 1 つに絞った方が良いですか。

【事務局】そこまで絞らなくてもよくて、委員各自のご意見をお聞きしたかったので、図書館部会でも同様にお聞きして、会議で出た意見をまとめたいと思います。最終的には意見が多いものを提言案として出すことになるかと考えております。もしくは町に 1 つか、小学校区かの 2 つの案を提案することもあるかもしれません。

【部会長】ひとつお聞きしたいのですが、地域の力を借りることは小学校と比べて中学校は少ないように感じるのですがいかがですか。

- 【事務局】職業体験や職場体験では地域の協力がほしいという話は聞いています。
- 【委員】小学校区になると中学校はどこかの地区に入るということですか。
- 【事務局】中学校区となると、公民館のように南・中・北というエリアに分けたいと思います。
- 【委員】寒川小学校は3つの中学校に分かれて進学していきますので、どこの中学校区に入るのか、小学校区をどう活かすのか難しいように感じます。
- 【部会長】そういうところが疑問の部分になりますが、1つに設置して各学校で何か活動していく方が良いように感じました。
- 【委員】これまでの話を聞いていると、自分の地区にはいないが他の地区に人材はいても、その情報が入らないという話は何回か出ています。そういう点では1か所でコントロールするところがあると良いのではないかと思います。その中心になる人はすごく大変だと思いますが、そうしないと現状と変わらないと思うので、私は本部を1つにした方がいいと思いますが、小学校と中学校では活動内容が違っていると難しいところがあるのかもしれませんが。
- 【委員】学校の人数は関係ないのですか。
- 【事務局】人口割にするとまた難しい区分けになってしまうかもしれません。
- 【部会長】それでは今の意見をまとめていただくことで本日はよろしいでしょうか。残りの議題は持ち越しということで年度内では難しいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 【事務局】メンバーは変わってしまうかもしれませんが、前任者から引き継いで協議を続けていければと考えております。
- 【委員】最後に15ページにある推進員の役割ですが、最後に学校運営協議会の委員を兼任するとあります。これは現状を考えると、学校運営協議会の委員はそれだけでも手いっぱいなので、兼任は難しいように思います。
- 【事務局】現在の方に兼任してもらいより、たとえばPTAのOBの方など推進員に新たに入ってもらいという形を考えています。
- 【委員】PTAのOBはすでに学校運営協議会の委員に声かけをしているので、人材を探すのは難しいです。兼任がうまくいくだろうかという懸念があります。橋渡し役なので兼任してもらえればその学校の情報は知っていると思いますが、負担が大きくなるので受けてくれるか不安です。それぞれの学校で状況は違うと思いますが、現実的には難しいと思います。
- 【副部会長】兼任ではなく経験した方でもいいのではないのでしょうか。
- 【事務局】推進員は学校運営協議会には入っていただかないと連携や情報共有できませんので、必ず兼任していただくようにはなりません。
- 【部会長】学校運営協議会の委員がその学校のことをよくわかっているのが良いと思います。頻繁に変わる委員もいますが、私も今年初めて小谷小学校の学校運営協議会の委員になりました。その地区に住んでいますが、小谷小学校のことはまだよくわからないので、推進員はPTAのOBの方になってもらえれば良いと思います。
- 【委員】小学校でPTA役員をされた方は中学校でも役員になる場合が多いので、小学校の学校運営協議会委員を抜けてしまう方も多いと思います。元PTA役員でも進学していった先で役割を持つ方が多いです。PTAのOBの方でお子さんがもう中学校も卒業している元会長がいますが、自営業だから融通が利くのかかもしれませんが皆さん仕事をやりながら協力していただいているので負担にならないか心配です。それもまた検討していくことになりますが、そこも課題だと思います。
- 【部会長】課題のひとつとして増えたと思いますが、来年度以降もこの協議を続けていくということでもよろしいでしょうか。

## 5. その他

	<p>・次回の部会の開催予定について 第3回全体会 2月12日(木)午後1時30分～ 町民センター3階 講義室</p> <p>・県社会教育委員連絡協議会の今後の予定 関東甲信越静社会教育研究大会 11月20日(木)、21日(金) 横浜 県公民館大会 1/23(金) 足柄上合同庁舎(山口、三澤)</p> <p>6. 閉会 三澤 副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和7年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿 2 令和7年度公民館事業実績(6～9月分) 3 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の参加について 4 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会第3分科会事例発表原稿案 (R7.10.30時点) 5 令和6・7年度協議テーマ「地域学校協働活動の推進について」 6 令和7年度寒川町社会教育委員会議日程(R7年10月30日時点)</p> <p>参考資料1 令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰被表彰取組一覧 参考資料2 令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰被表彰取組一覧</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・森 和彦    ・三澤米子</p> <p style="text-align: right;">(令和8年2月20日確定)</p>